

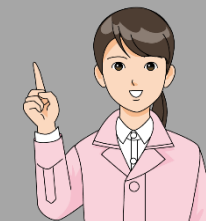
Hi-BIM® ～ヒロセBIMについて～

2024.11.07

ヒロセ株式会社
DX推進本部BIM推進部

加藤 俊

会社概要



建築
BIM



土木
CIM

重仮設専門工事会社





業務効率化、省力化
(社内・社外) = BIM活用

Hi-BIM®
Hirose Building Information Management

Hi-BIM概念②



BIMを活用した3つのHi価値を元請会社へ提供

1. Hiスピード

現行の2Dと同等以上のスピード感

2. Hiクオリティー

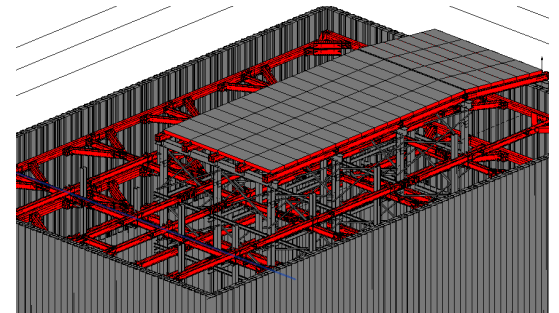
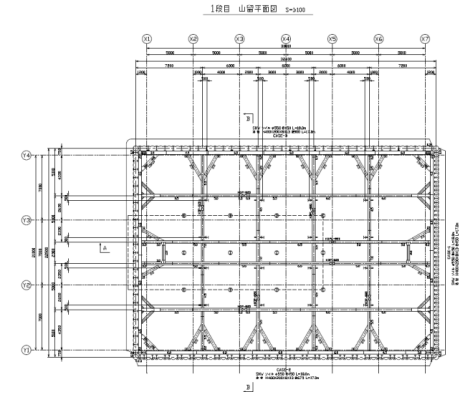
図面⇒BIM⇒Hi-BIM

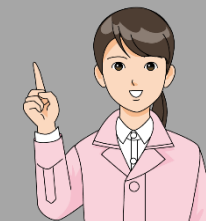
システムを組み従来より高品質設計

3. Hiレスポンス

素早い修正変更が可能

社外で利用できる業務効率化システムの構築/リリース(柔軟性)



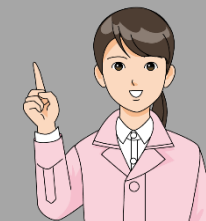


実績・目標



作業量は2DよりHi-BIMプロセスの方が少ない環境構築

Hi-BIM概要③



取組



システム 開発

1 APS、Revitアドインの開発

24年4月社内リリース
・山留モデリングシステム Hi-YMS
・3D施工計画システム Hi-CPS
仮設橋梁、加工BIM等は現在開発中

2 効果目標

大幅なモデル作成時間の削減
ファミリ動作・属性項目の見直し



人材開発

1 各本支店へ水平展開

24年度より各本支店に対応
できる環境整備
全店にBIM推進責任者・
エキスパート配置

2 Revit講習実施

前年度全国で約70名に対して
講習実施（設計者、オペレータ）



社内 サポート

1 ヒロセBIMポータルサイト

BIMナレッジや教育資料格納
案件問い合わせ窓口開設

2 その他サポート

細かい作業・操作の相談等が可能

Hi-BIMシリーズ





独自開発BIMツールで圧倒的な社内業務効率化を実現
お客様の建設プロジェクトを強力にサポート

Hi-BIM®Series
山留モデリングシステム
Hi-YMS/Hi-CPS
3D施工計画支援システム



STRONG POINT

01
スピード計画

ヒロセ社内で業務負荷50%削減
でき、2次元と同等のスピード感
を実現します。

02
精緻な施工計画

専門工事会社のノウハウをシス
テム化、3Dモデル上で高品質で
安全な施工計画を実現します。

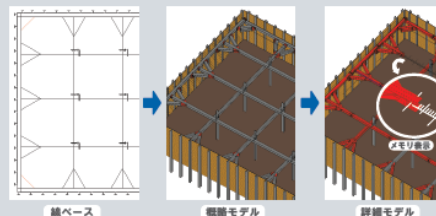
03
建設DXの推進

Hi-YMSとHi-CPSは、3D技術とデ
ータ活用により、重仮設工事の
DXを推進し、業界の生産性向上
と競争力強化に貢献します。

Hi-YMS
山留モデリングシステム

概略から詳細まで3Dで計画、計算プログラムや数量表システムとも連携可能

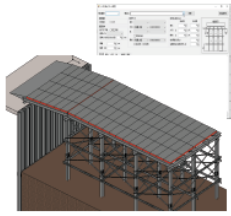
#.HIGHLIGHT 01



総ベース
概略モデル
詳細モデル

総ベースからワンクリックで概略モデル化
概略モデルを割付し、より詳細なモデルと数量の算出が可能

#.HIGHLIGHT 02

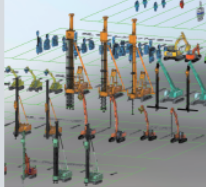


計算データから
構台の3Dモデルを一括作成

Hi-CPS
3D施工計画支援システム

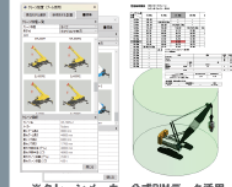
Hi-YMSとのシームレスな連携により、重仮設工事の精緻な施工計画を可視化

#.HIGHLIGHT 01



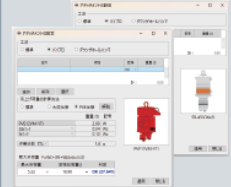
重仮設工事に必要な
BIMライブラリを整備

#.HIGHLIGHT 02



※クレーンメーカー会社BIMデータ活用
独自UIで定格総荷重表と連携

#.HIGHLIGHT 03



パイプロの属性に起振力を付加
杭打ち込み作業の検討を効率化

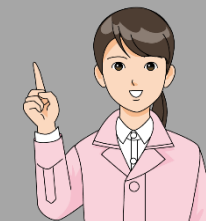
ヒロセ株式会社
〒135-0016 東京都江東区東横4-1-13 東横セントラルビル6階
Tel: 03-5634-4509

ヒロセ公式
アプリ

ヒロセ株式会社
Webサイト

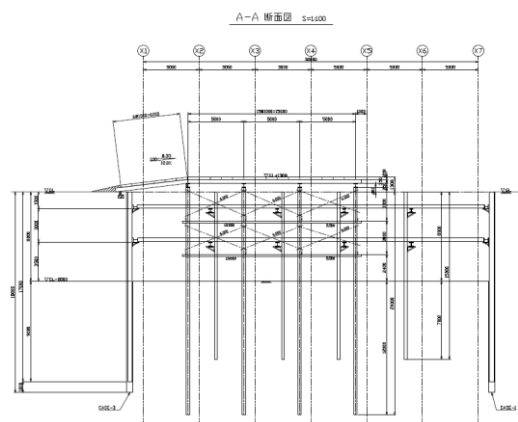
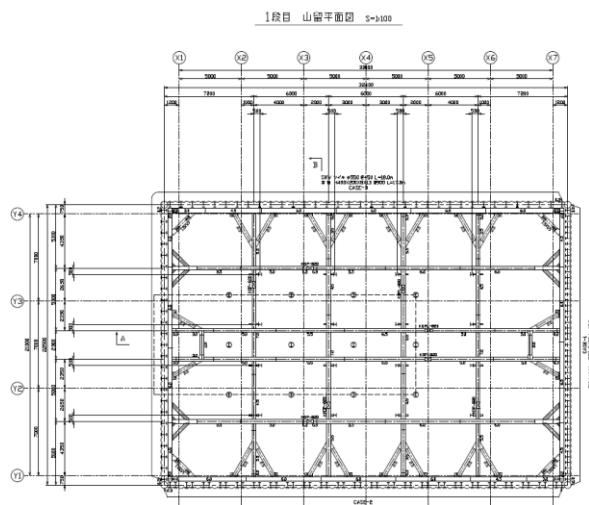
成果・生産性向上への貢献度



Hi-YMS 効果結果

2Dの作図より

Hi-YMSが早い！



BIM対応
384分

Revit
264分

約**73%**削減
384分⇒105分

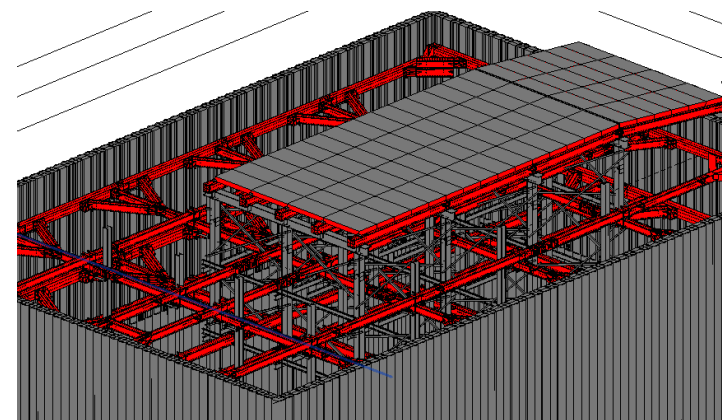
2D
120分

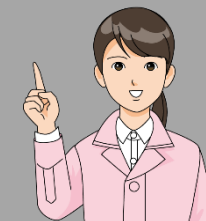
約**13%**削減
120分⇒105分

Hi-YMS
105分

過去

現在





課題

Hi-BIM定着

- ①キーマン⇒全社員へ
- ②開発や保守の内製化
- ③社内⇒社外（顧客）

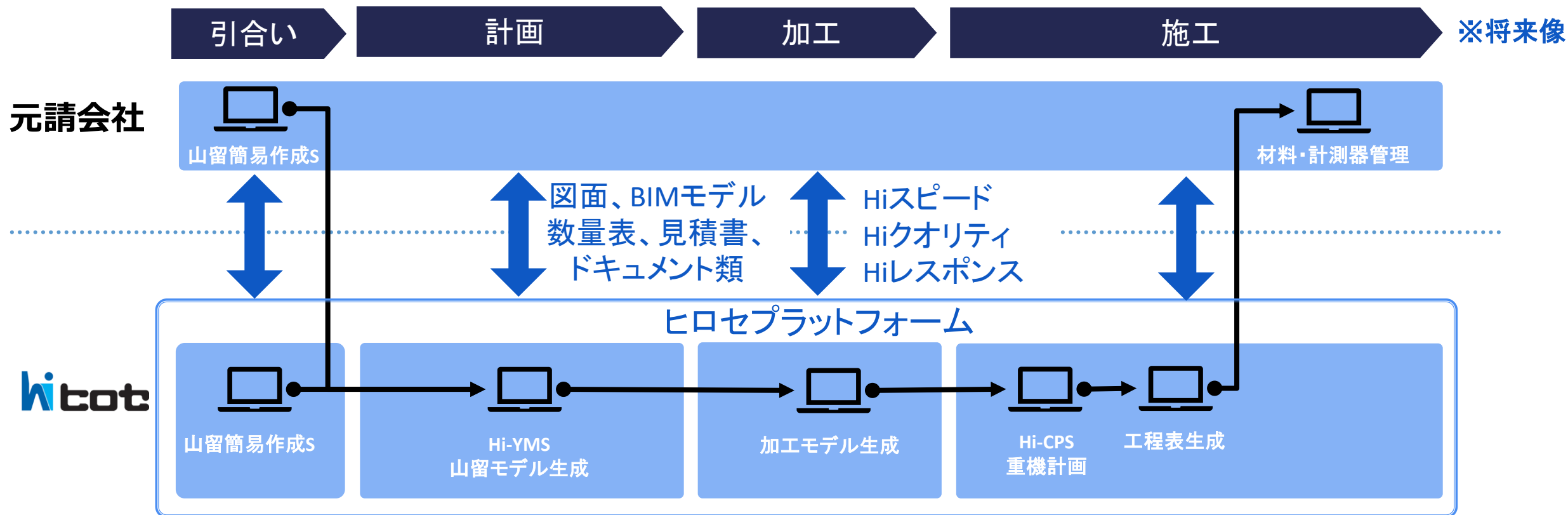
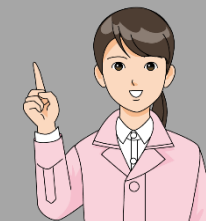


対策

Hi-BIM定着

- ①FY26計画BIMスタンダードを
より認識してもらうため
BIM営業で実績増
- ②開発体制の構築
人材の確保・教育
- ③外部の方も使えるシステムリリース
12月建設DX展『東京』

今後への期待



BIMを活用した**スピード、品質、柔軟性**を活かし

お客様にとって価値のある**専門工事会社**へ

